



特集

県内ボランティア団体をご紹介します

ボランティア探訪

社協の取り組み

ボランティア活動と地域づくり

〜津幡町社会福祉協議会〜

地域住民の皆様との顔と顔、声と声、心と心を繋げていけるような津幡町ボランティアセンターを目指して、「地域づくりを担うボランティア活動」をキャッチフレーズにし、取り組んでいます。

ボランティア講座や交流会をとおして、さまざまな感じ方や考え方に違い、互いに認め合い高め合うボランティア活動者の皆様から「よりよい地域をつくっていききたい」という熱い思いが溢れていたように感じました。その熱い思いに込められているように、子どもから高齢者、地域で暮らす皆様が中心となった地域づくりに繋がるように、ボランティア活動を支えていきたいと感じています。



▶県立看護大学 川島和代教授より助言をいただきましたがらの熱いアスカッション



◀北陸学院大学 田中純一教授をお招きしたボランティア活動者主体の学びを深める避難所運営講習

学生の取り組み

県立翠星高等学校JRC部

〜取り組み活動の紹介〜

JRCとは青少年赤十字の英語略です。本校JRC部は青少年赤十字の3つの活動目標である、①健康・安全、②奉仕、③国際理解・親善に沿った活動に取り組んでいます。

具体的には①では、AEDや心肺蘇生法を習得し、百万石まつりなど諸行事に参加、疾病者が出た緊急時の対応に備えています。②では、学童クラブを訪問、児童の遊び相手や勉強のお手伝い、指導員の先生の補助などを務めています。また、特別養護老人施設を訪問、お年寄りにクリームを用いてのハンドマッサージ、お話を耳を傾ける傾聴ボランティア、車いすや歩行補助器具の掃除、手入れなどお年寄りが気持ちよく生活できるような活動に取り組んでいます。その他、24時間テレビや赤い羽根などの募金活動に従事し、募金の呼びかけを通じて社会貢献に一役買っています。③では、昨年度の日本赤十字社主催の海外支援事業に参加し、ベトナムJRC高校生と交流を深めました。



▲学童クラブで学習サポート



▲老人ホームで車椅子の掃除

企業の取り組み

この街で生きる 地域の皆様とつぎの街をつくる DSGグループ(西原物産株式会社)

〜DSGグループ(西原物産株式会社)〜

DSGグループでは、福祉施設の運営に役立てて欲しいとの思いから、4月8日、石川県内福祉施設22か所へ寄付金または施設希望の電化製品や介護用品、遊具などを寄贈させていただきました。

この活動は、平成19年度に始まり、今回で16回目となります。今回は石川県だけでなく富山県でも同規模の寄贈を計画しました。

弊社は石川県・富山県の2県において、地域密着スタイルで永きに渡り営業させて頂いております。これも地域の皆様のご協力があった事の思いから始まった活動です。このような活動を通じ地域の皆様へ恩返しが出来ればと思っております。

今後も弊社は多様な形で地域貢献活動を続けて参ります。



▶贈呈目録を渡す西原社長



▶謝辞を述べる受贈施設代表

集 ありがとうをあなたに

ボランティア活動機器・備品助成を受けた感謝の声

「ボランティア活動機器・備品等助成事業」は県内でボランティア活動を行う団体が、活動に必要な機器・備品等を購入する際の購入費に対して助成を行う事業です。

この助成事業は、昭和57年に県内のボランティア活動を支援するために石川県社会福祉協議会に設置された「ボランティア活動振興基金」により行われています。基金は、県からの補助金や企業、個人からいただいた寄付金から成り立っており、この寄付金を積立、その運用益（預金利息）で、福祉ボランティア活動の環境づくりを進めています。

平成30年度は、50団体、総額4,231万円を助成しました。ボランティア団体を応援したい、地域の役に立ちたいという想いのつまった寄付金は、地域で活動するボランティアの方々にとってなよりの励みとなります。今回は、助成を受けた団体からの感謝の声を紹介します。

音楽療法効果を福祉活動の中で求めて

オカリナフレンズ・フルマウンテン（金沢市）

マエストロ（楽器）・ハーモニック管（楽器）

私達地域に密着したオカリナ仲間、今は亡き日野原重明先生の推奨された音楽療法に感銘して、10人で6年前に介護福祉施設等を主な活動手段として立ち上げました。福祉施設や介護施設等へ出向きオカリナの静かな音色を活かした演奏をしながら、時には一緒に口ずさんだりするひと時でも療法効果を自負するところです。

今回は広い場所でも、より良く鳴り響き力強い豊かなサウンド効果のある機器の支援を受けることができ、深みのある音色を通じて課題解決です。今後は助成に恥じない活動をより一層質を高くして継続するよう各施設での評価も聞き入れていきたいところです。助成制度に感謝しながら地域に広くお返ししていきたいと思えます。



金沢赤十字病院にて演奏会



安田内科病院にて演奏会

和太鼓で地域の皆様と交流したい

和太鼓 大地（金沢市）

桶胴太鼓英哲型台2台、附締太鼓立ち台2台

私達は、和太鼓の演奏を通して、地域や福祉施設の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思い、日々練習に励んでいます。

施設に訪問した際には、和太鼓の演奏を聞いて頂くだけでなく、太鼓を打つ体験もして頂き、「ドン・ドン・ドン」と身体に響く音を体感もして頂き、心身共にリフレッシュして頂きたいと思っています。

今回の助成金で、新しいキャスター付きの台を購入することができ、太鼓を利用者様の座っている場所までスムーズに動かしていく事ができて、とても便利になりました。

これからも地域や福祉施設の皆様と和太鼓の魅力を分かち合いたいと思います。本当にありがとうございます。



金沢西病院創立記念祭にて



陽風園祭にて

星空観察を通じて広がる地域の輪

山中温泉ゆけむり倶楽部（加賀市）

フジノン70mm10倍双眼鏡一式、スマホ撮影アダプタ

山中児童センターのオープン以来、プラネタリウムの解説など、当団体は児童福祉を中心としたボランティア活動を40年間続けてきました。とりわけ、毎年8月開催の「親子星空観察会」は関係者の努力が実り、今では参加者が300人を超える一大イベントに成長しました。そんな折、老朽化した双眼鏡が壊れ「ただでさえ少ない観測機材に、はてこの後どうしたものか」と思案していたところ「県のボランティア活動機器の助成措置があるので、応募しては？」と、市社協から救いの手が。

今回購入した口径70mm10倍双眼鏡は初心者でも扱いが簡単なわりに、大きな威力を発揮します。ファーストライトとなる平成最後10月の月見観望会では、参加者から大歓声がありました。今度は令和最初8月7日の大舞台で威力を発揮するはずですよ。



平成30年は火星が15年ぶりに地球に最接近の年でした。「ワッ！火星が本当に赤く見えるよ」と歓声が上がっていました



ちいぎのつごえる場を目指して

姫ゆり会 (能登町)

ホットプレート、ガス炊飯器、ガステーブル

姫ゆり会は、能登町姫地区で、高齢者が出かけられる場を作ることで、閉じこもりを防ぎ、地域の高齢者の介護予防を目的に活動を行っています。活動内容は、年10回開催し、レクリエーション、研修旅行、ストレッチ体操等です。

今回は、ホットプレート、ガス炊飯器、ガステーブルの購入助成をいただき、ありがとうございます。交流会の開催日には、昼食をボランティアで作り、交流を深めています。

ホットプレートで、お好み焼きやハンバーグを並べて焼くことができ、参加者の皆様から喜ばれています。今後、助成いただいた調理器具を活用し、おいしい料理を皆様に食してもらい、喜んでいただきたいと思います。



ホットプレート、ガス炊飯器、ガステーブルを購入し、ボランティアで昼食を作り、交流を深めています。



毎月1回、姫ゆり会を開催し、毎回約35名が参加しています。

視覚障害者に寄り添う活動を目指して

白山音訳の会「草笛」(白山市)

ノートパソコン

音訳ボランティア「草笛」は、目に障害があり、文字を「目」で読むことの出来ない方へ、「耳」で読むことの出来る声のデータをお届けするグループです。

市が発行する広報やその他書物を、パソコンを使って声を録音し、一枚のCDに五〇時間も録音可能というシステムを用いて、障害者へのCDを発送しています。録音作業にはパソコンを使用しますが、現在使用期限のとくに過ぎたパソコンをだましましたし使用。そして、この助成金を得て、パソコン一台購入しました。機能が良く、故障のないパソコン機器を使うことによって、より早く、より雑音の少ない聞きやすいデータを送ることが可能となります。これも障害者に寄り添う一助ではないかと考えています。



新しいパソコンにスタッフ一同大満足!



出来上がったCDをお届けします

ボランティア活動振興基金 ～活かしますあなたの善意～

ボランティア活動振興基金は、昭和57年、ボランティア活動を支援するために設置されました。県からの補助金や企業や個人からの寄付金を積み立て、その運用益(預金利子)で、福祉ボランティア活動の環境づくりを進めています。

基金の状況

■基金現残高

397,481,678円 平成31年3月末現在

内訳 (民間寄付金 197,481,678円)
(県補助金 200,000,000円)

こんなとき こんなお金を

企業の社会貢献として、祝いごとや香典返しの一部を、企業・商店・各団体の開設や創立記念として、お買物のおつりやおこづかいの残りを、お給料から毎月コツコツと、

※ボランティア活動振興基金へのご寄付は税控除の対象となります。

「住みよい地域づくりを目指して」

麦生区民の交流を進める会 (宝達志水町)

プロジェクター&スクリーン購入

私達が住んでいる区では高齢化が進み、畑仕事や散歩をしなくなった人、家にこもりがちなのが増えてきました。そこで区民が気軽に集まり、楽しくいきいきと生活できる地域づくりを目指して、映画鑑賞や講演会の開催など様々なイベントを行っています。最初は少なかった参加者も口伝えで少しずつ増えてきました。今まで上映会をする時の機材は全て借用していたため、手配するのも大変苦労しておりました。今回助成金でプロジェクターとスクリーンを購入したことに、時間が有効活用でき、活動の範囲も広くなりました。

プロジェクターを使用して、映像を楽しむだけではなく、映像を映しながら健康体操を行うことで地域住民の健康増進にも寄与しています。助成金の交付に感謝いたします。



スクリーンの映像を見ながら健康体操をしました。身体を動かすと気持ちが良いです。



見やすいと参加者からも好評です。

ボランティアネットにユーザー登録されている 福祉施設・団体の皆様へ

掲載中のボランティア募集情報 更新のお願い

日頃より、ボランティアネットをご利用いただきありがとうございます。ボランティアネットでは、最新のボランティア情報を県民の皆様にお届けできるよう努めています。情報を掲載いただいている施設・団体の皆様には、お手数をおかけいたしますが、下記の**確認方法**により、情報の修正・削除がないかご確認をお願いします。



確認方法

手順①	「施設者管理画面」 (https://www.isk-shakyo.or.jp/vm-admin/) よりログイン ※施設者管理画面ログインにはユーザー名・パスワードが必要です。ユーザー名・パスワードをお忘れの場合は、石川県社協ボランティアセンター（ページ下部記載）までご連絡ください。		
手順②	ボランティア募集管理の「募集一覧」をクリック		
手順③	「表示状態」の「掲載中の募集のみ表示」にチェックし検索		
手順④	表示された情報の「詳細」をクリックし内容を確認。		
手順⑤	【削除する場合】 県社協ボランティアセンターまで連絡（本会で削除させていただきます）。	【募集情報を新規登録する場合】 「追加」または「引用」ボタンより、情報を入力し、登録する。（本会で登録内容を確認し、承認したあと、ボランティアネットへ掲載いたします）	【掲載情報を修正する場合】 ①「詳細」ボタンより、掲載中の情報を印刷し、修正を書き込みした上で、県社協ボランティアセンターへFAX ②県社協ボランティアセンターへ電話連絡

使用済みインクジェットカートリッジを集めています！

石川県社会福祉協議会では、使用済みの（空になった）インクジェットカートリッジを集めています。使用済みカートリッジは、(株)エネックスに買い取っていただき、換金されたお金は県内のボランティア活動の振興に役立てています。

対象メーカー Canon、EPSON ※純正品に限る（リサイクル品は対象外）



◆◆ 使用済みインクジェットカートリッジの回収箱の設置にご協力ください ◆◆

使用済みインクジェットカートリッジの回収箱を設置していただける事業所、店舗、施設を募集しています。社会貢献を考えている企業や、お客様と一緒にリサイクルに協力したいという店舗の皆様からの連絡をお待ちしています。

～ボランティアネットをご利用ください～

ボランティア募集情報、ボランティアイベント情報、助成情報等、各種ボランティア情報をご覧いただくことができます。
URL : <http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/>

ふれあいネットワーク

発行／  社会福祉法人 石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒920-8557 金沢市本多町3丁目1番地10号
☎ (076) 234-1616 FAX (076) 222-8900
E-mail : ivcv@isk-shakyo.or.jp URL : <http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/>

ボランティア活動振興基金のシンボル・キャラクター「ユーくん」です。

生まれば、昭和60年3月29日、この日に新聞広告で県民の皆さんに発表されました。
生みの親は、当時、金沢美術工芸大学で工業デザイン専攻の野村靖治さんで、ボランティアとして制作していただきました。
名付け親は、新聞等で公募した結果、最優秀賞を受賞された西田ひろ美さん（金沢市）「ユウちゃん」と二法田まきさん（金沢市）「優くん」で、補作したものです。
優しさ、勇気、友達の「ユー」です。

